

何かに夢中って
素晴らしい!!

シャカリキ

瓦版
VOL.5
2013年11月

【シャカリキ】[名][形動]夢中になって何かに取り組むこと。お釈迦様が人々の幸せのために力の限りを尽くしたことから、このような姿を「お釈迦様の力=釈迦力」というようになりました。



妙見山法得寺

〒546-0012 大阪市東住吉区中野4-5-26
Tel.06-6702-7373 Fax.06-6700-6002
e-mail: info@houtokuji.net

永代供養専用ダイヤル

Tel.06-4302-4194 (よくよう)

ホームページ <http://www.houtokuji.net>

新たな御縁を、ひとつひとつ...

一法得寺納骨堂の今一

現代の葬祭事情、お墓事情といったことがマスコミでも取り上げられ、様変わりしてきた状況を見聞きしておられる方も多いと思います。

法得寺でも、4年前から従来の信者の方々以外にも、広く門戸を開放いたしました。

法得寺の信条としては、一人一人のお方を大切に扱い、いつもお経の聞こえるところで真心こめて供養していきたいという住職の信念に沿う形で進めております。

そんな中、どのような方々が法得寺へ納骨をされ縁を結ばれたのかを、今日は少しご紹介してみよう。

Aさん

ご主人の月命日には、毎月お顔を見せに来られ、そっと手を合わせてお帰りになります。



Bさん

お母さんとの昔の思い出が法得寺周辺にあり、生前馴染みのあった場所へ納骨してあげたいと希望されました。共に他府県にお住まいのお姉さんと年忌法要ごとに法得寺で会われ、お参りされます。

Cさん

「経済的に余力がないので合祀墓へ身内だけで」とのお話でしたが、納骨のことを伝え聞かれたお友達が遠方から訪ねて来られ、故人の好物を供えて帰られました。



Dさん

幼い息子さんを亡くされ、長い間の手元供養から区切りを付けて納骨されました。祥月の前後や法得寺のお盆行事にもお参りされるようになりました。



Eさん

奥様の納骨をされ、ご本人の生前予約も済まされました。後見人の息子さんご夫婦に後を託されてからは、一人自由気ままにわが道を行く生活をされているようでしばらくお会いしてませんが奥様のご命日にはお酒でも飲みながら語りかけておられるのかもしれない。

Fさん

施主であるお母さんを、娘さんたちそれぞれのご夫婦で介抱しながら法要に連れて来られます。ご親戚の方々とも久々に対面しながら故人を偲べれます。



Gさん

ご主人を亡くされてから四十九日までの毎週、そして今は、月命日の朝参りにも小一時間かけて熱心にお参りされます。法得寺とのご縁を大切にしてください。



Hさん

お父さんのご遺骨を田舎から引き取って来られ、ご自分が身近で供養できるようにと、法得寺へ納骨されました。仕事の合間を見計らって、「今からちょっと会いに行きますから」と気軽にご連絡いただき、少しの間手を合わせてまた帰って行かれます。

現在20を超えるご家族のうち、一部をご紹介しました。

ほとんどの方がそれまで無宗派であったにせよ、愛するご家族を亡くされたことにより、故人を決してないがしろにたくないというお気持ちから、法得寺とのご縁が始まりました。

身近に、気軽にお参りができ、心おきなく故人と対話ができるよう、法得寺の課題も多くあります。

広く皆様方のご意見もお聞かせいただければと思います。